

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	母子保健事業			
予算科目	4 款 1 項 2 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 保健・医療の充実			
所管課情報	担当課: 健康増進課 電話番号(内線): 983-4052			
記入者情報	所属長: 室 潤子 担当責任者: 太森 真喜恵			
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】 平成 17 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	伊予市在住の妊婦および乳児から思春期までの子どもとその保護者			
根拠法令等	母子保健法、健やか親子21、健やか親子えひめ21、健やか親子いよし21、次世代育成支援行動計画、妊婦一般健康診査費助成金交付要綱			
事業の目的	すべての親と子が健やかに成長することができる			
事業の内容	妊婦乳幼児健診、育児相談、育児学級、健康教育、訪問指導、療育教室との連携。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	妊娠期からの支援を重点的に取組み、特定妊婦を優先的に必要時、虐待担当課と情報共有しながら、訪問や電話相談等で支援を行っていく。また、母子保健に関する手続きの利便性を高め、市民サービス充実の目的で、子育て環境整備事業を実施する。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	25,775	30,132	9,522	25,646
	人件費	24,816	18,657	9,650	18,657
	合計	0	48,789	19,172	44,303
人件費 内訳	人工数	3.12	2.32	1.20	2.32
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	24,816	18,657	9,650	18,657
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	4	8	0	4
	一般財源	50,587	48,781	19,172	44,299

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
幼児健診受診率	%	94.3	94.5	91	94.9
乳児一般健診受診券利用率	%	92.5	93	96.3	88.4
育児相談利用件数	件	2686	2690	762	2676
訪問指導件数	件	611	650	292	642

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	33,000	33,000	0	0	0	66,000

成果指標				
成果指標	必要時に気軽に母子保健サービスを利用し、育児不安を解消できる(母子保健事業利用状況件数)			
指標設定の考え方	サービスを上手に利用することで、いきいき楽しい子育てと親子が健やかに成長できる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	3300	3300	3300	0
実 績	3300	3318	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	妊娠期から継続的な支援を目標とし、特定妊婦について、他課と協力連携し、きめ細かな支援を行い、育児不安の解消・虐待予防に努めた。 市内の小児科医の減少や近隣の産婦人科が閉院する等、母子を取り巻く環境が変化しており、安心して子育てができる体制作りが急務である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	平成27年度においては、妊娠期への支援に力を入れて取り組み、担当者で支援の方向性の確認をすることができた。子育て関係機関との緊密な連携により、妊娠期からの切れ目のない支援体制の充実を図ることが必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申	
外部評価 (行政評価委員会)	

経営者会議の最終判断	
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	